

「安全なまちづくり」についてのアンケート結果

犯罪に遭うことなく、安全に安心して暮らすことができる社会の実現を目指し、県民の皆さんや関係機関等と連携して安全なまちづくりに関する施策に取り組んでいますが、防犯活動について、県民の皆さんがどういった意識を持っておられるかをお聞きし、今後の施策推進に役立てることを目的として、アンケート調査を実施しました。

★調査時期 : 平成29年11月

★対象者 : 県政モニター397人

★回答数 : 319人(回収率80.4%)

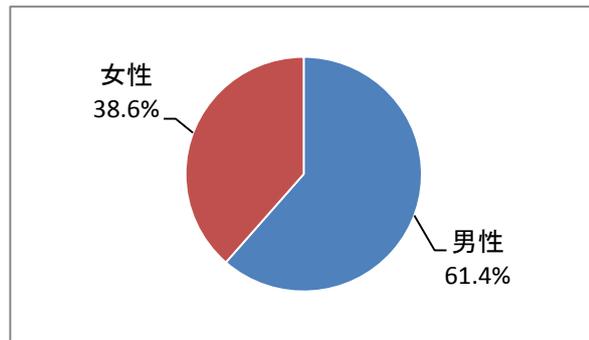
★担当課 : 県民生活部 県民活動生活課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

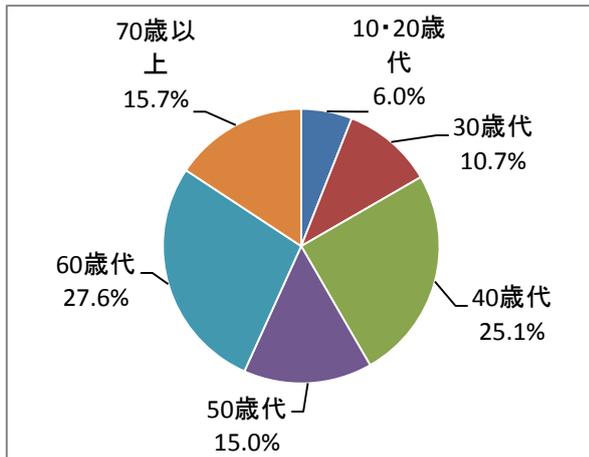
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	196	61.4
女性	123	38.6
合計	319	100.0



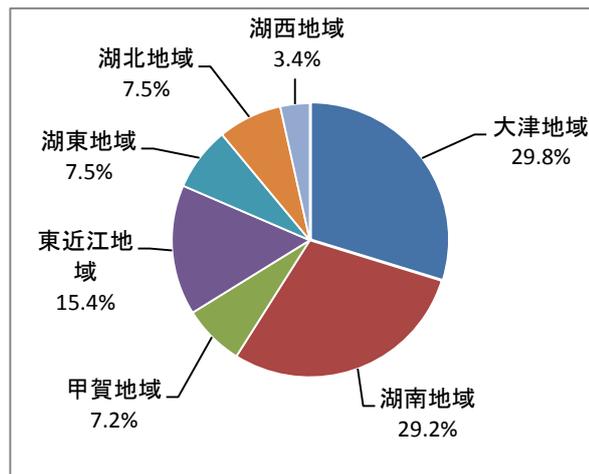
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	19	6.0
30歳代	34	10.7
40歳代	80	25.1
50歳代	48	15.0
60歳代	88	27.6
70歳以上	50	15.7
合計	319	100.0



◆地域

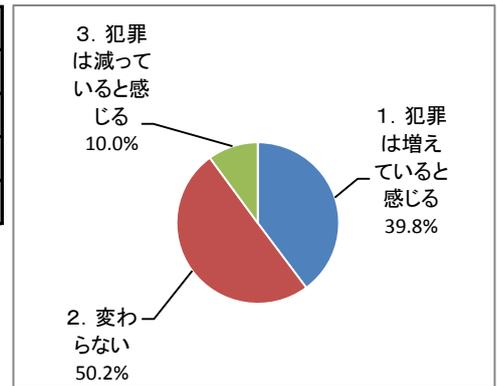
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	95	29.8
湖南地域	93	29.2
甲賀地域	23	7.2
東近江地域	49	15.4
湖東地域	24	7.5
湖北地域	24	7.5
湖西地域	11	3.4
合計	319	100.0



問1. 昨年(平成28年)1年間の滋賀県内における犯罪発生状況について、どう感じますか。

(回答チェックは1つだけ n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 犯罪は増えていると感じる	127	39.8
2. 変わらない	160	50.2
3. 犯罪は減っていると感じる	32	10.0
合計	319	100.0

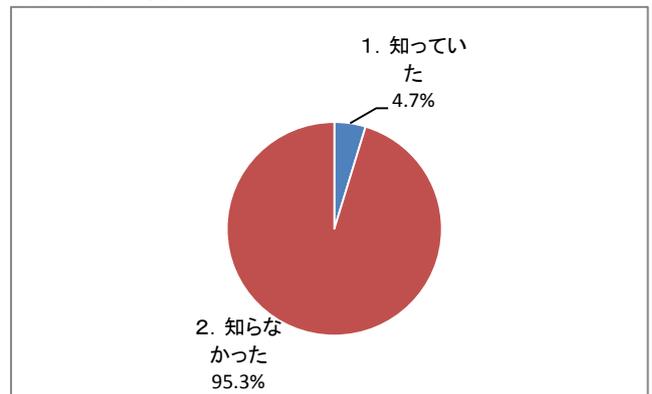


問2. 昨年(平成28年)1年間で、滋賀県内でおおよそ何件犯罪が発生しているか知っていましたか。

(回答チェックは1つだけ n=319)

[平成29年の滋賀県内における犯罪発生件数(確定値)9,573件]

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	15	4.7
2. 知らなかった	304	95.3
合計	319	100.0

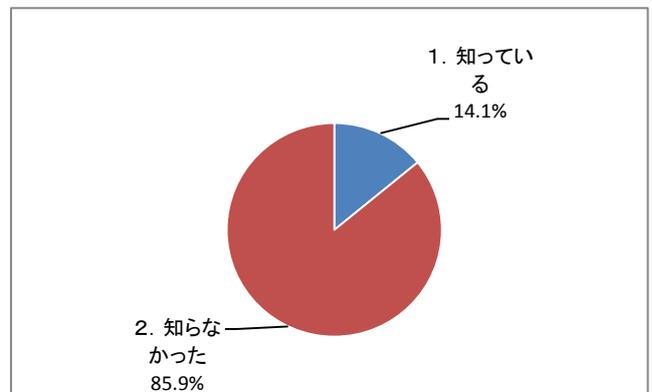


問3. 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議*(会長:滋賀県知事)において、毎年、年間の犯罪抑止目標を設定していることを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

[平成29年の犯罪抑止目標:刑法犯認知件数9,000件以下]

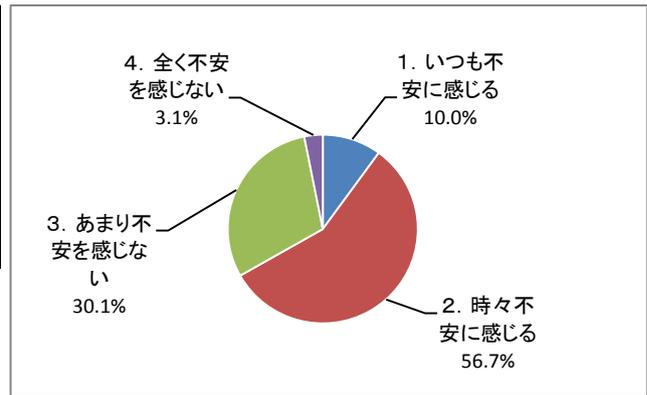
*「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議とは、県・市町・県民・事業者等の92の機関・団体で構成されており、県民等が犯罪に遭うことなく、安全に安心して生き生きと暮らすことができる社会を実現するための取り組みを実践しています。

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	45	14.1
2. 知らなかった	274	85.9
合計	319	100.0



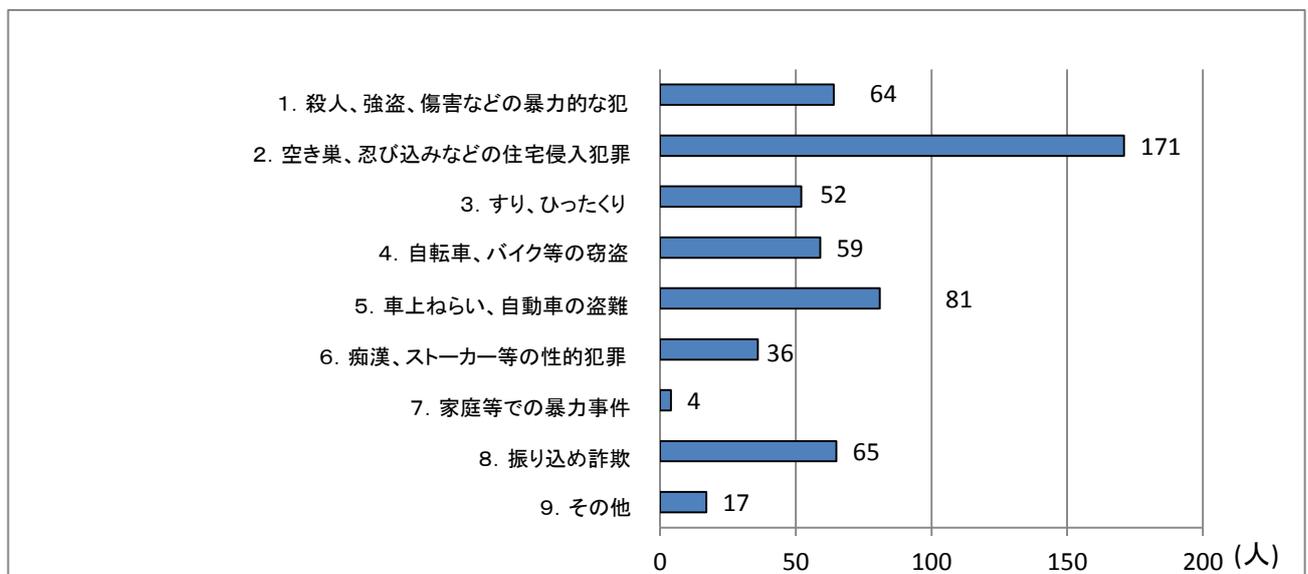
問4. あなたは日常生活において、何らかの犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. いつも不安を感じる	32	10.0
2. 時々不安を感じる	181	56.7
3. あまり不安を感じない	96	30.1
4. 全く不安を感じない	10	3.1
合計	319	100.0



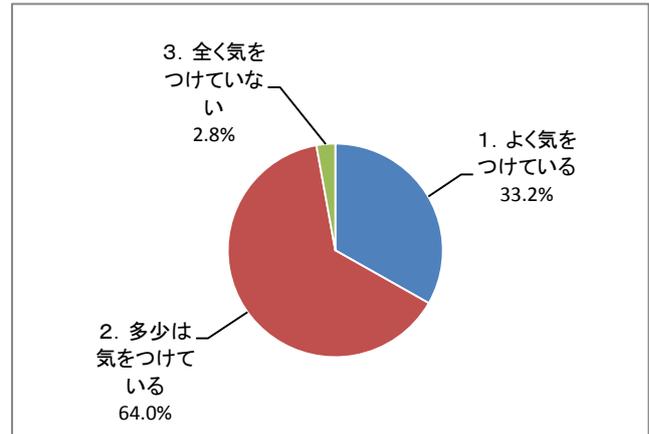
問5. 問4で「1. いつも不安を感じる」、「2. 時々不安を感じる」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような種類の犯罪に遭うのではないかと不安を感じていますか。(回答チェックは3つまで n=213)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 殺人、強盗、傷害などの暴力的な犯罪	64	30.0
2. 空き巣、忍び込みなどの住宅侵入犯罪	171	80.3
3. すり、ひったくり	52	24.4
4. 自転車、バイク等の窃盗	59	27.7
5. 自動車の盗難、車上ねらい	81	38.0
6. 痴漢、強制わいせつ等の性的犯罪	36	16.9
7. 家庭等での暴力事件	4	1.9
8. 振り込め詐欺や還付金詐欺等の特殊詐欺	65	30.5
9. その他	17	8.0



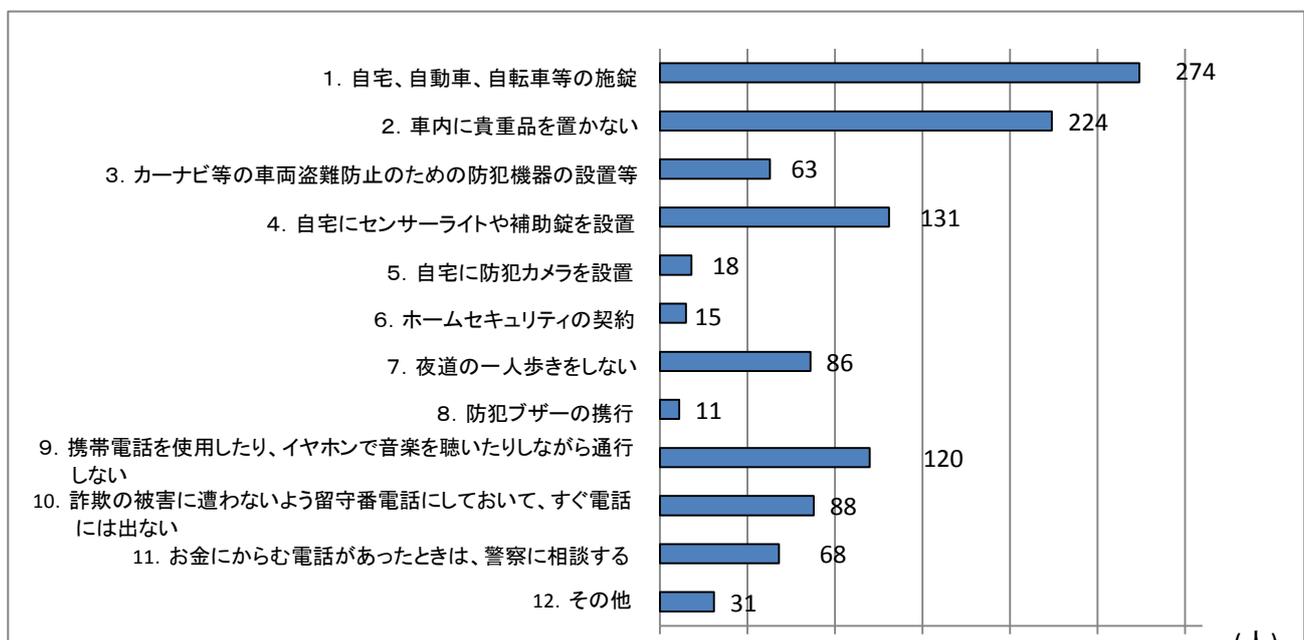
問6. 普段、あなたは家庭や身の回りで防犯に気をつけていますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. よく気をつけている	106	33.2
2. 多少は気をつけている	204	64.0
3. 全く気をつけていない	9	2.8
合計	319	100.0



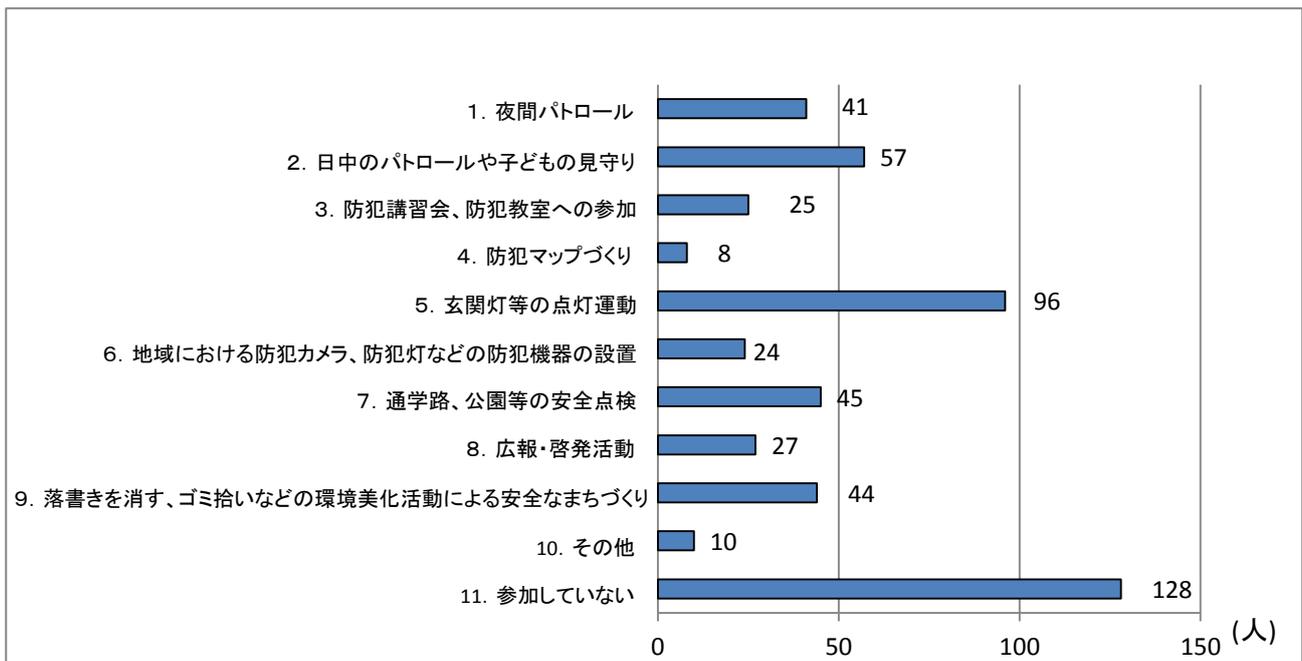
問7. 問6で「1. よく気をつけている」または「2. 多少は気をつけている」と回答された方にお聞きします。あなたが、日常生活で防犯に気をつけていることはどんなことですか。(回答チェックはいくつでも n=310)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅、自動車、自転車等の施錠	274	88.4
2. 車内に貴重品を置かない	224	72.3
3. カーナビ等の車両盗難防止のための防犯機器の設置等	63	20.3
4. 自宅にセンサーライトや補助錠を設置	131	42.3
5. 自宅に防犯カメラを設置	18	5.8
6. ホームセキュリティの契約	15	4.8
7. 夜道の一人歩きをしない	86	27.7
8. 防犯ブザーの携行	11	3.5
9. 携帯電話を使用したり、イヤホンで音楽を聴いたりしながら通行しない	120	38.7
10. 詐欺の被害に遭わないよう留守番電話にしておいて、すぐ電話には出ない	88	28.4
11. お金にからむ電話があったときは、警察に相談する	68	21.9
12. その他	31	10.0



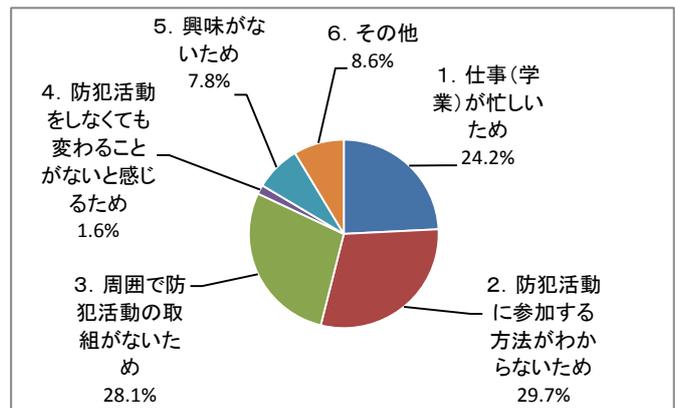
問8. あなたは、どのような防犯活動に参加したり取り組んだりしていますか。
(回答チェックはいくつでも n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 夜間パトロール	41	12.9
2. 日中のパトロールや子どもの見守り	57	17.9
3. 防犯講習会、防犯教室への参加	25	7.8
4. 防犯マップづくり	8	2.5
5. 玄関灯等の点灯運動	96	30.1
6. 地域における防犯カメラ、防犯灯などの防犯機器の設置	24	7.5
7. 通学路、公園等の安全点検	45	14.1
8. 広報・啓発活動	27	8.5
9. 落書きを消す、ゴミ拾いなどの環境美化活動による安全なまちづくり	44	13.8
10. その他	10	3.1
11. 参加していない	128	40.1



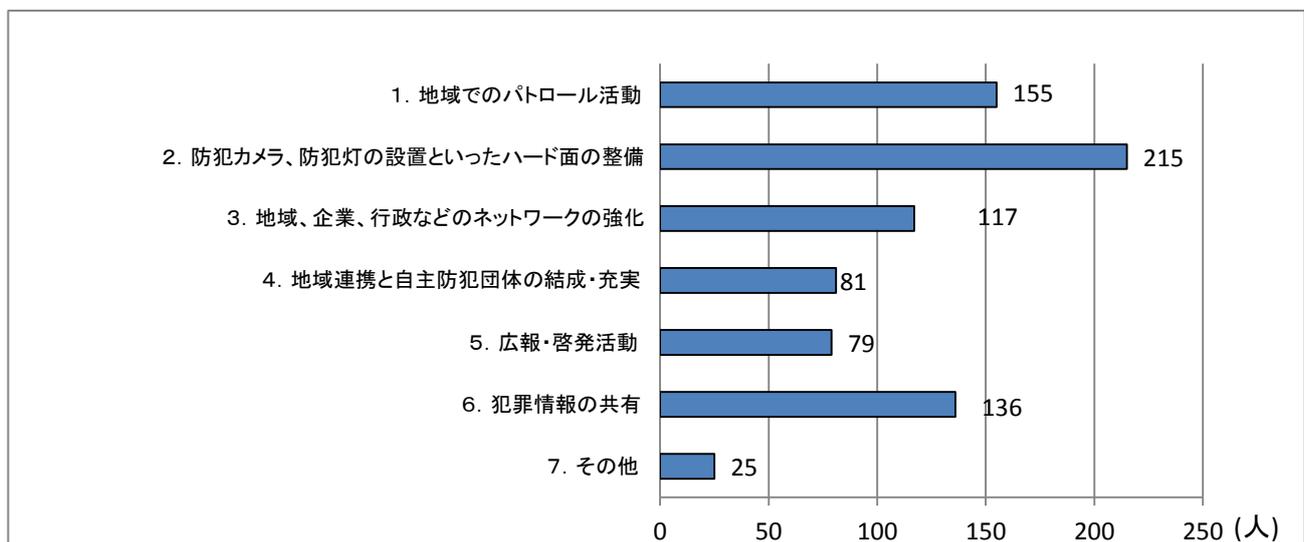
問9. 問8で「11. 参加していない」と回答された方にお尋ねします。あなたが防犯活動に参加していない理由は何ですか。(回答チェックは1つだけ n=128)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事(学業)が忙しいため	31	24.2
2. 防犯活動に参加する方法がわからないため	38	29.7
3. 周囲で防犯活動の取組がないため	36	28.1
4. 防犯活動をしなくても変わることがないと感じるため	2	1.6
5. 興味がないため	10	7.8
6. その他	11	8.6
合計	128	100.0



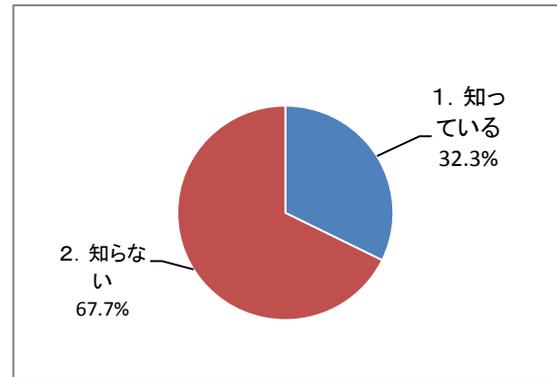
問10. 今後望まれる防犯対策の取組は、どのようなものですか。(回答チェックはいくつでも n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 地域でのパトロール活動	155	48.6
2. 防犯カメラ、防犯灯の設置といったハード面の整備	215	67.4
3. 地域、企業、行政などのネットワークの強化	117	36.7
4. 地域連携と自主防犯団体の結成・充実	81	25.4
5. 広報・啓発活動	79	24.8
6. 犯罪情報の共有	136	42.6
7. その他	25	7.8



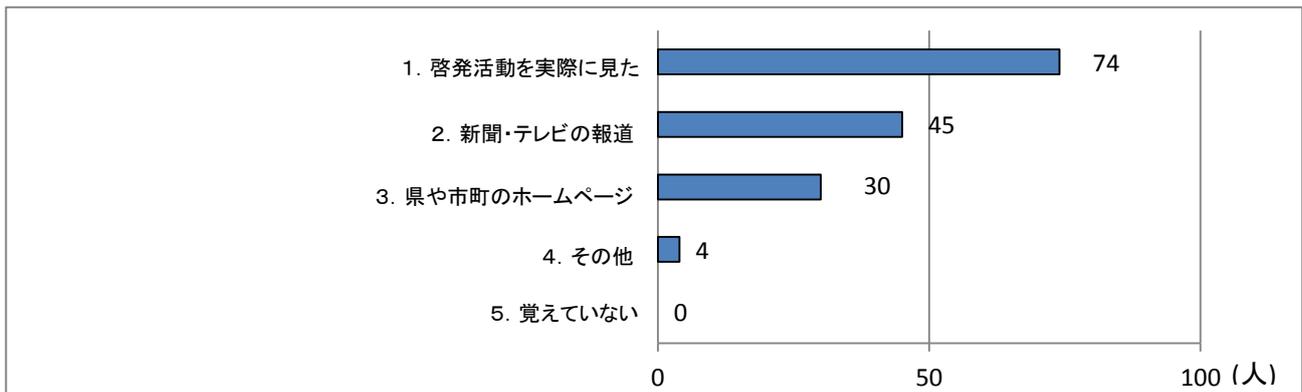
問11. 県民の皆さんが犯罪の被害に遭わないよう、県・市町・県民・事業者等が協働し、目に見える防犯啓発活動を街頭や大型店舗等において実施しているのを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	103	32.3
2. 知らない	216	67.7
合計	319	100.0



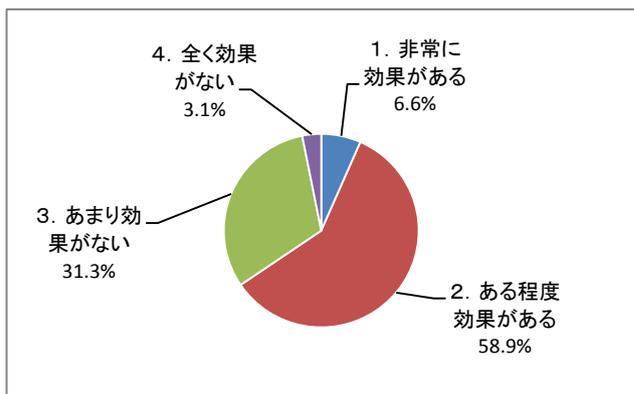
問12. 問11で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。あなたは、防犯啓発活動を実施していることを何で知りましたか。(回答チェックはいくつでも n=103)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 啓発活動を実際に見た	74	23.2
2. 新聞・テレビの報道	45	14.1
3. 県や市町のホームページ	30	9.4
4. その他	4	1.3
5. 覚えていない	0	0.0



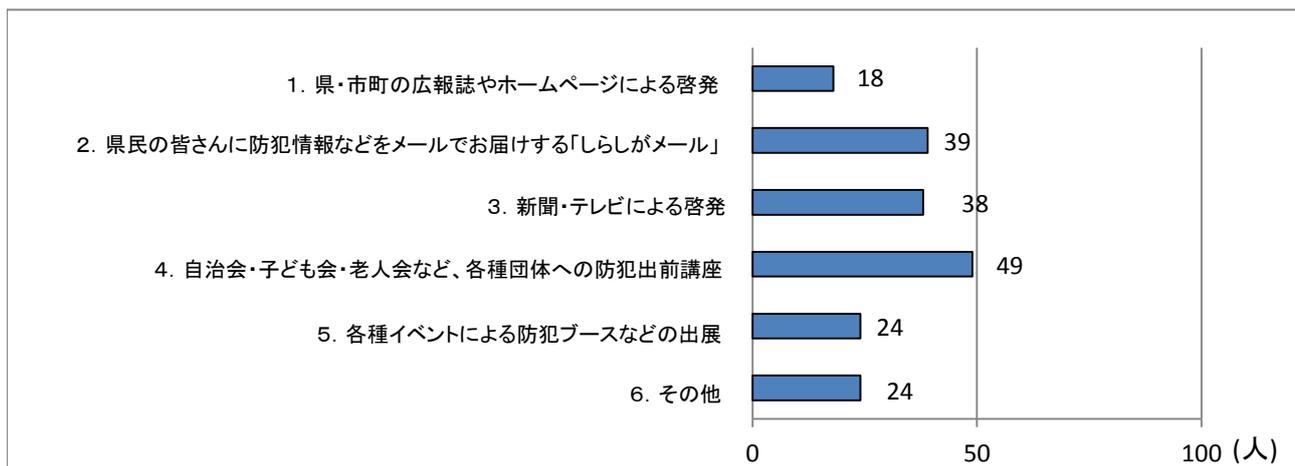
問13. 街頭や大型店舗等でのチラシ配布による啓発活動は、効果があると思いますか。(回答チェックは1つだけ n=319)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に効果がある	21	6.6
2. ある程度効果がある	188	58.9
3. あまり効果がない	100	31.3
4. 全く効果がない	10	3.1
合計	319	100.0



問14. 問13で「3. あまり効果がない」、「4. 全く効果がない」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような啓発であれば効果があると思いますか。(回答チェックはいくつでも n=110)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県・市町の広報誌やホームページによる啓発	18	16.4
2. 県民の皆さんに防犯情報などをメールでお届けする「しらがメール」による情報発信	39	35.5
3. 新聞・テレビによる啓発	38	34.5
4. 自治会・子ども会・老人会など、各種団体への防犯出前講座	49	44.5
5. 各種イベントによる防犯ブースなどの出展	24	21.8
6. その他	24	21.8



問15. 安全なまちづくりに関して、御意見がありましたら記入してください。

◎特殊詐欺について

- ・高齢者の犯罪を防ぐ上でのサポート体制が必要。
- ・高齢者が詐欺などの犯罪に巻き込まれるのを如何にして防ぐか、プロジェクトチームを組織化し、具体的な防止策を県民に周知する。
- ・しらしがメールによる特殊詐欺の実際に発生した具体的な内容の通知は非常に効果があると思う。
- ・迷惑電話チェッカーを配布して、完全にオレオレ詐欺を防止する。

◎子ども・女性対象犯罪について

- ・誘拐にあいそうになった時の具体的な対処法など子どもへの啓発活動が重要。
- ・小さい子供が一人で歩いたり、自転車等に乗っていたりするのを見かけると、いつ犯罪に遭うか、事故に遭わないかと心配になる。幼い子供を持つ親に対する防犯教育が必要だと思う。
- ・色んな犯罪の情報にあふれているので、常に犯罪に対しての不安はあります。地域の目を強化できるのなら、主婦の時間を活かして、子どもの見守りのボランティアなどをしたいです。

◎防犯カメラや防犯灯などの整備について

- ・一戸建て住宅に塀などの死角を作らない。
- ・比較的人通りの多い支線道路(道幅の細い道路)の街頭を増やす。
- ・いたるところに防犯カメラをつければ抑止力になると思う。
- ・お金はかかるが防犯カメラの設置が一番抑止力があるし、他の事件への活用等も含めて費用対効果は大きな気がする。
- ・やはり防犯カメラがあると犯罪抑止効果はあると思います。徐々に数を増やしていただければうれしいです
- ・県、市町村は防犯灯、防犯カメラの設置に補助金を増やしてほしい
- ・夜道に暗い所も多く、街灯の増加が必要

◎自助・共助・自主防犯活動の取組について

- ・近所の住人との交流を増やし、見知らぬ人との区別をつけやすくする。
- ・新たなアプローチでコミュニケーションの場づくり強化
- ・この街にはいろんな目が光っているんだぞ！というアピールを、地域のおとな・子ども、外からたまたま来た人、みんなに感じる雰囲気にしてほしい。
- ・ご近所付き合いが希薄になりつつあると感じていた時期もありましたが、今また地域の高齢化と共にお付き合いが見直されてきているように感じます。我が家はまだ高齢世帯ではありませんが、子育てが一段落した今、出来ることを探してみようと思います。
- ・ハード面だけでなく、人と人のつながり助け合いなどソフト面の対策も大切。
- ・安全なまちづくりは、地域住民が積極的に取り組む事が重要です。今後も関心を深めて参加したい。
- ・各区で夜回り対策を実施するのが良い。
- ・自治会がしっかりしているので他の地域に比べ犯罪は少ないように感じています。地域でお互いの顔を合わせる事、参加しやすい自治会活動であつたらよいと思います。
- ・地域での見守り、自治会の団結などが有効と思います。日ごろからの防犯の取り組みが必要。
- ・地域の眼で監視することで抑止力となるよう、協力していきたいと思います。
- ・地域の間人間関係が密でお互いがある程度顔を知り、あいさつなどを交わすことが大事。またゴミなどのない街にすることも大事。夜間は門灯を常時点けることも大事。

◎警察の取組について

- ・定期的な警察官・警察関係者のパトロール強化。
- ・通学時間の警察によるパトロールを強化
- ・警察によるパトロールが非常に効果があると思います
- ・警察官のパトロールの回数を多くしていただくのが一番効果があると思います。
- ・交番がもっと多ければ、安心に感じます。取り締まるのではなく、その存在が防犯にもなるので、もっと増えると嬉しいです。

◎広報啓発について

- ・空き巣被害に関して、どのような対策が有効なのか、ガイドして欲しいと思います。
- ・今回のアンケート調査で、いろいろ学習できた。仕事を通じて社会と関わりを多く持っていた。退職後は、この様な活動や情報に接する機会が少なくなった。行政・新聞・テレビによる啓発を、何度でもお願いしたい。
- ・地域で発生した犯罪情報を積極的に住民に知らせ、その防犯にもっと力を入れるべきである。その情報は県警で集約していると思いますが、各自治体と連携して進められてはどうか。安心メールに振込詐欺や自動車への犯罪などは、よく入ってきますのでその情報で気を付けています。

◎防犯意識について

- ・転倒したままの自転車、道端にいつまでも放置されている自転車(盗難)、落書き、球切れのままの街灯など「放置」状態を早期発見改良が「治安の良い町」をアピールでき、犯罪の芽をつむことができると考えます。
- ・道沿いのゴミ拾いといった、小さな活動に犯罪の抑止効果があることをもっと啓発してみても。人の目が行き届いていると感じられる場所では、犯罪は起こりにくいものですから。
- ・犯罪を起こさせない街作り(みんなの意識を高める。隙をみせない)をみんなで取り組んでいく必要があると思います。
- ・防犯に関して 個人の意識を高めるのがよいと思います。

◎その他

- ・本件、「安全なまちづくり」として防犯が中心になっているが、日常的な安全の視点として交通安全も同じ枠組み内で対処、啓発、情報発信するのが県民サイドから見ればベターと思う。

